

保護者等向け 児童発達支援事業所あつぷる（放課後等デイサービス事業）評価表

この評価表は、令和5年1月31日時点において、当事業所（放課後等デイサービス事業）と契約締結しているお子さんの保護者等に記載して頂いた内容となっています。（集計：20名中12名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見/事業所からのコメント
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	2		保護者：横になったり座ったりできるスペースがあればよい。 事業所：室内にはソファアがったり、カーペットを敷いている居室があります。可能な限り、そのようなスペースでくつろいで頂くようにしていますが、利用者さんによってはお気に入りの場所でくつろぎたい方もいますので、移動できるマット等を用意するようにします。 部屋数は多数あり活動別、利用者さん個々の特性に応じて、部屋の使い分けをしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	4		保護者：よく分からない。 事業所：その日の利用者数に応じて必要な職員配置数が変わります。予め利用者数が分かっているので、配置基準を満たす人員確保はできています。学校の下校時間が複数校重なり、送迎時に事業所の職員だけでは対応が難しい場合があります。事務員等に送迎の依頼をすることがあります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		放デイ入口に段差があるので、手すりを設けさらに専用ボックスを置いて段差を小さくしています。バリアフリーの観点からいえば十分とは言えないので、必要に応じて対応していきたいと考えています。 また今後は、視覚障害やLGBTへの配慮、みんなに優しい環境作りに努めたいと考えています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	10	2		日々ご家族から頂いたお話しや定期的に行わせて頂いたニーズ把握調査、また相談支援専門員が作成している計画等を職員間で総合的に協議した上で、計画作成をしています。
	5	充実した活動プログラムになるように工夫されているか	8	4		利用者さんにとって楽しいことや、飽きがこない内容になるように、職員や利用者さんと話し合いながらプログラムを考えています。 充実したプログラムとなるように日頃から利用者さんの様子をよく見たり、どのような活動をしたいか話を聞いています。
	6	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	今年度は地域の高校の生徒会と一緒に一部分お化け屋敷を作成しました。高知新聞社にも取り上げて頂きました。また10月には高校生や児童養護施設をご招待し、マグロ解体ショーも楽しみました。 来年度は、地域のイベントにブースを構える等、関わる機会を増やしていきたいと考えています。
	7	職員から支援の内容、利用者負担等について説明がなされているか	9	3		支援内容は個別支援計画作成時や利用の際、どのようなことをするのか、またしたのか可能か限りお話ししています。他の利用者さんの支援も同時に行っていますので、十分なお話の時間を確保できない場合もあります。連絡帳でお伝えするようにもしています。家庭等での様子や悩みも教えていただければ支援に繋げることができますので、宜しくお願いします。 利用者負担については、契約時にご説明をしています。ひと月のお支払額は毎月、詳細を記載した用紙をお渡ししております。ご質問等があれば職員にお声掛け下さい。
	8	子どもの状況を伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	8	4		
	9	職員からの保護者に対しての十分なコミュニケーションや、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	4		

保護者への説明等	10	保護者懇談会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	8	1	保護者：時間的になかなか参加できない。 事業所：今年度は10月に小学生、12月に中学生、3月（予定）には高校生を対象とした保護者懇談会を開催します。感染症により参加が難しい状況もありましたが、ご家族からたくさん話を聞くことができ、充実した会になっています。今後より多くの方に参加していただけるように、工夫をしていきたいと考えています。連携という点において特別支援学校PTAにも声をかけて共有を図ってみたいと考えています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	4		今年度苦情として処理をした事案はありません。苦情が上がった場合は、速やかに謝罪・必要な対応を講じ、保護者懇談会において報告をするようにしています。またその際資料に記載し、参加できないご家庭には郵送するようになっています。苦情ではなく、ご意見・ご提案として頂いた内容も、職員間で共有させていただいています。
	12	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	5		毎月ご家庭へお便りを発行しています。また連絡帳を活用したり、お話しがある場合は、可能な限り面談や電話対応に応じられるようにしています。 行事の情報発信につきまして、本来イベントは事前にお伝えすべきことですが、お伝えすることで利用希望が殺到し、定員枠を超えた方の利用をお断りしなければならない事態になります。事前周知ができないイベントもあることはご理解下さい。誕生日会等、参加対象の利用者さんは確実に参加できるように、日程調整等していますのでご安心下さい。 尚、評価結果は一条協会のホームページに掲載をします。今後は事業所のSNSを立ち上げて発信していくように考えています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4		
	14	個人情報には十分注意できているか	10	2		契約時（更新時）に、ご家族には個人情報取り扱いに関する調書に必要事項の記入をして頂いています。それに基づいて対応しています。
非常時等の対応	15	緊急時対応や感染症の対応等について周知・説明されているか	10	1	1	感染症については、県の警戒レベルを確認しながら随時対応を検討し、必要に応じてご家族に文章をお渡ししています。 災害時対応について、併設の入所施設と合同で取り組むこと、通所事業所として取り組まなければならないことの見直しを現在行っています。新しくマニュアルができましたら、その都度ご家族にもお知らせします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	6		避難訓練（火災・地震・風水害）は、毎月1回は併設の入所施設と合同で行っています。また7月・1月・3月（長期休暇中）には事業所独自で避難訓練を行うようにしています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2		いつも当事業所の活動にご理解いただき、誠にありがとうございます。この評価表や日々のお話の中で教えていただいた事を参考に、今以上に利用者さんにとって、またご家族にとっても必要とされる事業所を目指していきます。利用者さんの「できた」ということを職員全員で一緒に喜び、自信あふれる毎日が送れるようにサポートしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	9	3		

とりまとめ：令和 5年 2月 16日